国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

２０２１年８月５日　北海道社会保障推進協議会　Tel:011-758-2648　FAX:758-4666

医療・介護・保健所を本気で充実させよう！

8月4日　記者発表・街頭宣伝「いのちまもる緊急行動@北海道」

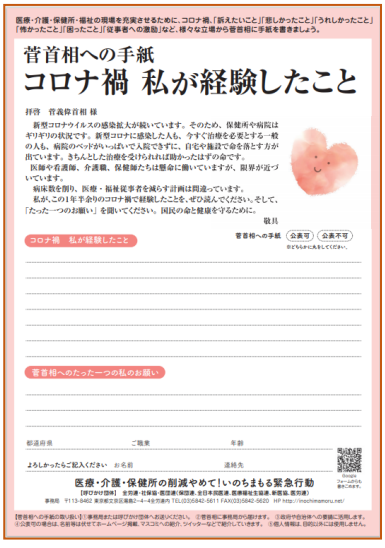
いのちを軽んじる、国・自治体の政策を変えさせる

８月４日、道労連、道医労連、道民医連、道社保協などでつくる「いのちまもる緊急行動@北海道」が、医療・介護・保健所を本気で充実させることを求めて、道政記者クラブで記者発表し、札幌中心街で宣伝しました。宣伝には雨が降る中、約 30 人が参加しました。

「いのちまもる緊急行動@北海道」は、中央団体が呼びかけた、いのちを軽んじる、国・自治体の政策を変えさせる「医療、介護、保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動」に応え、７月 16 日スタート集会を行いました。

この間、新型コロナウイルス感染症に感染しても、入院医療など必要な医療が受けられず、自宅でなくなる方も生まれています。その背景には、日本の医師数や看護師数、病床数が諸外国と比べて少なく、医療提供体制や保健所の体制の縮小など自公政権の社会保障費抑制政策があります。いのちをまもるために、社会保障・公衆衛生の拡充が必要です。

緊急行動は、衆議院選挙投票日まで。２つの要求を掲げて、職場や地域の実態の告発（菅首相への手紙）、宣伝・署名、国会議員や予定候補者、自治体への働きかけを進めます。９月５日には全国いっせいアピール行動も行います。


菅首相への手紙
コロナ禍　私が経験したこと
菅首相への手紙
医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

【２つの要求】　①保健所を拡充設置し、医師・看護師・介護職・保健師等を増員すること。②公立・公的病院の再編統合「再検証リスト」を撤回し、感染症病床と、その大半を担う公立・公的病院を拡充すること。

ご覧ください　**7月16日スタート集会**

黒沢幸一全労連事務局長の基調報告

https://youtu.be/3OMSnBklACQ